CISSP の難易度

徹底解説

合格率・偏差値・他資格比較で射程圏内に

合格率は非公表。学習戦略と年収への影響を解説



受験料 11 万円…怖いでしゅ

正体を知れば対策できる



【解説に入る前に】サービスのご紹介

セキュリティプロ・フリーランス

セキュリティに特化したフリーランス案件の
マッチングサービス

- 最高月収 150 万円・月額 80 万円以上の案件が 80% 以上
- リモート率 80% 以上、フルリモート案件多数
- セキュリティに精通した専任エージェントが営業・単価交渉・契約を代行

詳細を見る →

セキュリティプロ・テンショク

セキュリティエンジニア / コンサルタントに
特化した転職エージェント

- 最高想定年収 1,200 万円・利用者の 85% 以上が年収アップ
- 取扱求人の約 7 割が非公開求人
- 技術がわかるアドバイザーが書類添削・面接対策・年収交渉を代行

詳細を見る →

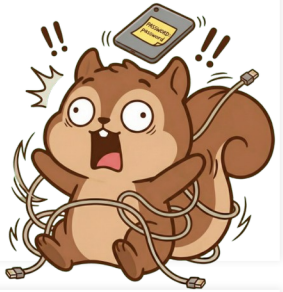
**どちらも登録・利用は完全無料。在職中・フルリモート希望でも相談できます。
まずは市場価値の無料相談から。**

© 2026 スプラッシュエンジニアリング

CISSP 試験概要（最新版）

試験形式・問題数

CAT 方式・ 100 ～ 150 問・制限時間 3 時間



受験料・合格ライン

749 ドル（約 11 万円）・ 1000 点中 700 点

最大の特徴

出題数が受験者ごとに変動する CAT 方式。正解すると次の難易度が上がる

CISSP 認定に必要な要件

実務経験

8 ドメイン中 2 分野で 5 年以上の有給実務経験が必要



エンドースメント

ISC2 認定資格保有者 1 名の推薦が合格後に必要

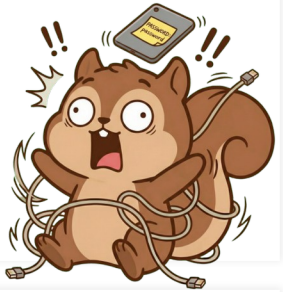
救済制度

合格すれば「 Associate of ISC2 」として経験を積める

合格率・偏差値で見る難易度

推定合格率（初回）

非公表（ ISC2 は合格率を公開していない）



偏差値

資格試験に共通の母集団は無く、偏差値は存在しない

注意点

ISC2 は合格率を非公開。 CAT 方式の性質上、均一な算出自体が困難

CISSP が難しい 5 つの本質的理由



1. **出題範囲の広さ**
   8 ドメインを横断する膨大な範囲。特定分野の深掘りだけでは合格できない設計
2. **マネジメント視点**
   技術的正解ではなく「組織として最適な判断」を選ぶ高度な思考力が必要
3. **CAT 方式の負荷**
   問題数が変動し手応えと合否が一致しない。メンタル管理も合否を左右する
4. **高額な再受験費**
   1 回落ちるたびに約 11 万円。十分な準備なしで臨む金銭的リスクは大きい
5. **英語力の壁**
   日本語試験もあるが原書・教材の多くは英語。英語での情報収集力も合否に影響

8 ドメインの出題比率と学習優先度



最大：ドメイン 1

セキュリティとリスク管理 16% 。他ドメインの土台となる最重要領域



ドメイン 3 〜 7 均等配分

各 12 〜 13% でほぼ均等。 1 分野の集中学習だけでは合格できない



学習の鉄則

まずドメイン 1 を固め、出題比率を見ながら弱点ドメインを順番に潰す

CISSP vs 情報処理安全確保支援士

CISSP

国際通用度 最高水準

- 受験料：約 11 万円
- 実務 5 年必須
- マネジメント視点重視
- グローバル認知度が高い

VS

情報処理安全確保支援士

取得コスト 圧倒的優位

- 受験料： 7,500 円
- 実務経験不要
- 技術知識の正確性重視
- 国内限定の評価



選択の軸

国際キャリアなら CISSP 。コスト重視・国内中心なら支援士から着手

CISA ・ CISM との役割分担

CISA （IT 監査特化）

対象領域

IT 監査・保証・ガバナンス

受験料

575 ドル（ISACA 会員）

向いている人

監査・保証職を志す人

CISM （マネジメント特化）

対象領域

受験料

向いている人

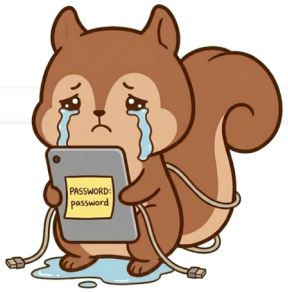
迷うなら CISSP が一番つぶしが利く



不合格者に共通する３つのパターン

技術偏重型

技術は熟知でもマネジメント視点が欠如。得意分野でも失点するケース



演習不足型

公式ガイドを通読だけして実践的な問題演習をこなしていない

時間配分ミス

序盤に時間をかけすぎ後半が駆け足になり得点を取りこぼす



３パターンとも事前に把握して対策できれば合格率は大きく改善する

合格のための 4 フェーズ学習計画

1

1 ヶ月目

ドメイン 1 「リスクマネジメント」から着手。全体の土台となる概念を固める

2

2 ヶ月目

ドメイン 3 〜 5 （エンジニアリング・ネットワーク・ IAM ）を一気に攻略

3

3 ヶ月目

残り 4 ドメイン（資産管理・テスト・運用・開発セキュリティ）を仕上げる

4

最終 2 週間

フル模擬試験を複数回実施し弱点ドメインを集中補強する

期限を先に決めてしまえ



独学 vs 公式トレーニング

独学

総額：約 13 ～ 15 万円

・CBK ガイド＋ Boson 模試が主軸
・3 ～ 6 ヶ月の自己管理が必要
・実務 5 年超の経験者に向く

VS

公式トレーニング

総額：約 60 ～ 70 万円

・5 日間で体系的に習得
・講師への質問機会あり
・会社の研修制度を使えば自己負担を抑えられる



判断の軸

実務経験が豊富なら独学、体系的に学び直すなら研修制度を最大活用

CISSP 取得後の年収・キャリア変化

年収プレミアム

CISSP 記載の公開求人 13 件は中央値 650 万円（450 ～ 1,100 万円）

グローバル市場評価

米国 DoD 8140 の必須資格。世界 16 万人超が保有するスタンダード

投資効果

受験料 749 ドルで上流・外資の応募要件を満たせる。取得コストを回収しやすい資格

まとめ

- 合格率は非公表。正しい戦略と 200 ～ 300 時間で十分に手が届く
- マネジメント視点と CAT 方式への対策が合否を分ける最大のポイント
- 取得で上流・外資の応募要件を満たす。今日から公式 CBK ガイドのドメイン 1 を開こう

NEXT ACTION

まずは市場価値の無料相談・登録

セキュリティプロ・フリーランス ＞

セキュリティプロ・テンショク ＞

